



# まとくれいこう 磨徳励行

自ら考え  
進んで行動し  
学び続ける  
『キラリと光る励徳っ子』



梅雨の後は夏本番！！

第14号  
R5.7.14発行  
文責 永田 功臣

## 地域の方の力を借りて主体的に学ぶ

7日（金）に3・4年生は中村陽希くんのお祖母ちゃんにもう一度ご指導いただいて、シソを使った梅干しの漬け直しを行いました。感染症対策のため食物の加工等は、これまで控えていましたが、やはり体験が必要だと感じています。いろいろな体験が、次の学びのヒントとなります。「赤シソ」を使って梅を染める理由等もこれから考えていきます。



とくとく算数も11日（火）に今年度2回目を実施しました。とくとく算数も昨年度より回数を多く計画しています。ただ、丸付けをしてもらうだけでなく、そうなった理由等を言葉で説明することをとおして、思考力や表現力を高めてほしいと思います。また、学校の先生だけでなく、いろいろな地域の「先生」から学ぶことで、子どもの主体的な学びへとつなげていきます。



地域の皆様、1学期も大変お世話になりました。夏休みになり、子どもたちが地域へ帰っていきます。地域でのご指導もよろしくお願ひいたします。



## ☆はうから☆

～キラリと光るために～

「礼トーキー」がみんなに浸透し、行動に移してくれていることをうれしく思います。

「天気」や「体調」などを話すきっかけにして、相手との話題を探し、会話をつなぐこともコミュニケーション能力の大変な一つだと思います。レッツ礼トーキー！！

「キラリと光る」ためにみんなにあいさつをし天気のことなど楽しい会話を付け加えて話すことをがんばる

四年 立石仁之介



「礼トーキーをがんばる」

## もっとサイエヌ

着衣泳から

12日（水）に消防署の方々を講師にお招きして、全学年「着衣泳」の授業を実施しました。主に低学年の部を見せてもらいましたが、服を着て水の中を歩くだけで、動きにくさを感じていました。夏休み等で川や海に出かける際は、今回の事を思い出して事故にあわないよう自分で注意してほしいと思います。



その時、「浮きやすい靴」と「浮きにくい靴」の実験がありました。空気や水には、「ものを浮かせる力」がはたらきます。浮くか浮かないかは何に関係していると思いますか。重たい船も浮かぶことから、重さだけではないことがわかると思います。ちょっと考えてみてください。

着衣泳の後半は、ペットボトルやビート板を使った「背浮き」の練習がありました。みんな上手に浮いていましたが、この時、「ペットボトルは強く握らないほうが良い」というアドバイスがありました。これも「浮かせる力」に関係があります。なぜ？



## 夜間中学説明会

令和6年4月に熊本で初めて「夜間中学」が開校します。その入学希望説明会が今後予定されており、いろんなところで周知されていますが、必要としている人へ十分情報が伝わらないことがあります。

「小学校や中学校を卒業していない人」「事情により十分学校に通えなかった人で学び直しを希望する人」等、身近におられましたら、ご紹介ください。熊本県教育委員会HP等で詳しくご覧になれます。

